

科目名	地誌学Ⅰ			担当教員	柏木 良明	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED1SGG105
期待される学修成果	教科教育 学校と社会					
アクティブ・ラーニングの要素	該当なし					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	指導要領の「地理的分野」に関わる、世界の様々な地域や日本の様々な地域の地域構成、環境、産業等をテーマとする。その際、地誌を単に暗記するだけでなく、自然環境と人間活動との関係から自ら興味をもって学び理解することを到達目標とする。					
授業の概要	世界各地の地誌について、気候・地形・植生などの自然条件と農業・工業などの人間活動との関わりについて調べる。講義に加えて、各国の地誌についてディスカッションや、地図作成などの作業を行う。 【デジタル技術利用：該当なし】					

授業計画	
第1回	地誌学とはどのような学問分野であるかを解説する。地形と気候との関係を例に、大スケールの地理について考察を進める。
第2回	地理学の発展について、古代から大航海時代まで、地図を参照しながら考察する。
第3回	メンタルマップ、旧国名等の、地図の作業を行う。
第4回	近代の地理学の発展について解説する。
第5回	日本地誌（自然環境） 地形区分と日本の気候について学習する。
第6回	日本地誌 過去の気候と植生分布について解説する。
第7回	東南アジア地誌 地形や気候、都市、産業等について、地図帳を参照しながら学習する。
第8回	南アジア地誌 地形や気候、都市、産業等について、地図帳を参照しながら学習する。
第9回	東南アジア、南アジアにて、ビジネスを展開する方（美川（池宮）聖実 氏）を、ゲストスピーカーとして招聘し、今の各地の地誌学的様子、産業、ビジネス等について学習を進める。
第10回	ラテンアメリカ地誌 地形や気候、都市、産業等について、地図帳を参照しながら学習する。
第11回	アマゾン川流域の地誌について、地形、気候、植生、産業、人々の暮らしについて解説する。
第12回	オセアニア地誌 地形や気候、都市、産業等について、地図帳を参照しながら学習する。
第13回	ヨーロッパ地誌 地形や気候、都市、産業等について、地図帳を参照しながら学習する。
第14回	アフリカ地誌、最新の地誌研究について、解説する。
第15回	まとめと確認試験

事前学修	2時間	毎回、授業時に示す国々を地図帳で確認しておくこと。
事後学修	2時間	専門書と地図帳等で、その地域の地誌について復習すること。
フィードバックの方法	レポート課題については、次の授業時に解説を行う。確認試験については、試験後に個別に解説を行う。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
レポート		20%	地図作成他
上記以外の試験・平常点評価		80%	授業内容の理解到達度確認
定期試験		0%	
補足事項	ゲストスピーカーによる講演は日程前後する可能性がある。		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
基本地図帳改訂版2026-2027	二宮書店編集部	二宮書店	978-4-8176-0531-3	ISBNは、新版で変更の可能性あり
参考資料				

科目名	地誌学Ⅱ			担当教員	柏木 良明	
単位	2単位	講義区分	講義		ナンバリング	ED1SGG406
期待される学修成果	教科教育 学校と社会					
アクティブラーニングの要素	プレゼンテーション					
実務経験						
実務経験を生かした授業内容						
到達目標及びテーマ	指導要領の「地理的分野」に関わる、世界の様々な地域や日本の様々な地域の地域構成、環境、産業等をテーマとする。その際、地誌を自然環境と人間活動との関係から考察し、自分の解釈を加えて論述し、意見交換を行うアクティブラーニングの手法を用いることで、さらに世界地誌の理解を深めることを目標とする。					
授業の概要	世界各地の地誌について、気候・地形・植生などの自然条件と農業・工業などの人間活動との関わりについて調べる。講義に加えて、毎回各国の地誌についてディスカッションや地図作成などの作業を行う。各回とも対象地域から2か国程度を選び、個人またはグループ別にその国の地誌について調査、発表、検討を行う（順番は入れ替わることもある）。なお、発表者にはあらかじめ作成したレジュメについて、対面指導やアクティブラーニング設備を用いた事前指導を行う。 【デジタル技術利用 該当番号：③、④】					

授業計画	
第1回	世界の国々と地誌学
第2回	世界の気候と植生分布
第3回	オランダ地誌、ケニア地誌
第4回	南アフリカ地誌、ニュージーランド地誌
第5回	イタリア地誌、パナマ地誌
第6回	ペルー地誌、エジプト地誌
第7回	アイスランド地誌、タイ地誌
第8回	フランス地誌、チリ地誌
第9回	ノルウェー地誌、モンゴル地誌
第10回	カナダ地誌、メキシコ地誌
第11回	ドイツ地誌、スイス地誌
第12回	インドネシア地誌、アルゼンチン地誌
第13回	その他の国々の世界地誌
第14回	その他の国々の現在の地誌的话题
第15回	まとめと確認試験

事前学修	2時間	各回とも発表者は30分程度発表できるよう、十分な下調べを必要とする。安易なHPの参照のみでは不可。発表者以外の人も、指定された国を地図帳等で確かめておくこと。
事後学修	2時間	講義の内容を再度復習し、地図帳および専門書などで確認すること。
フィードバックの方法	発表用レジュメについて、全員個別に指導添削を行う。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	30%	世界の国々の地誌についての発表レジュメ
上記以外の試験・平常点評価	70%	地誌に関する発表、質疑応答、到達度確認試験
定期試験	0%	

補足事項	必ず、毎回地図帳を持参すること。
------	------------------

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
地誌学Ⅰに用いた地図帳	二宮書店編集部	二宮書店	地誌学Ⅰと同じ	地誌学Ⅰで購入した地図帳を使用
参考資料				